

議会だより

第30号

平成25年 8月 5日発行

佐用

発行／佐用町議会

編集／議会広報特別委員会

〒679-5380

兵庫県佐用郡佐用町佐用2611-1

TEL. 0790-82-0668

FAX. 0790-82-0685



子育て奮闘中のママさん 議場を見学 (6月7日)
トライやるウィーク中の生徒も参加



西岡議長から説明を受けるママプラザのみなさん

も く じ	第55回定例議会開催.....	2～4
	議員定数の削減・趣旨説明.....	5
	一般質問・町政を問う 10人が登壇.....	6～11
	委員会・組合議会報告.....	12～14
	「議会に関するアンケート」.....	15
	今後の議会の予定・ センター長登場インタビュー.....	16

18人を14人に削減」可決

第55回定例議会は、6月11日から25日までの15日間の会期で開かれました。今回は、初日に議会改革調査特別委員長から「議員の定数を削減する条例改正案」が提出され、即日、賛成多数で可決されました。また、平成24年度補正予算ほか専決処分承認15件、平成25年度一般会計補正予算、職員の給与の臨時特例に関する条例の制定ほか、土づくりセンター条例の一部改正、おねみ滝谷オートキャンプ村無償貸付け、佐用小学校大規模改造工事の契約締結案件など7件、人権擁護委員の推薦4件、請願1件を審議し、提案をすべて承認・可決しました。また、一般質問には10人が登壇し町政をただしました。

職員給与の削減を可決

町長・副町長7.8%、職員6.3%、約8690万円の削減

原案可決議案

■職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、職員等の給与の減額について必要な措置を講ずるものです。

反対討論

金谷英志 議員

地方分権と町合併により、職員の仕事量は増加している。こんな中、給

与の減額は職員の士気に影響する。

たつの市や太子町などは削減を行っていない。

また、公務員準拠の労働者の給与にも影響し、

直接的には8600万円もの減額は、地域内経済循環の規模を小さくし、

町内業者へのマイナス影響は無視できない。

■平成25年度一般会計補正予算(第1号)

補正追加額は1億1250万円、主な内容は、

庁舎建設用地購入費320万円、地域介護拠点整

備費補助金540万円、風しん緊急対策予防接種委託料260万円、風しん緊急対策予防接種助成費50万円、有害鳥獣駆除活動補助金1519万円、

兵庫衛星通信ネットワーク設備更新負担金850万円、中学校バス等運行委託料252万円、中学校クラブ活動教材費150万円となっています。

反対討論

平岡きぬゑ 議員

問題は、三土中学校の閉校を前提にした補正予算であること。閉校は、当然住民合意のもとに進

められなければならない。

現状は、三土中学校組合教育委員会でも「決定」されてなく、来年3月土

万小学校の閉校も住民から異論が出ていると聞いている。

当然、組合教育委員会

が「決定」し、土万小学校閉校後に予算化すべき

もの。

賛成討論

石堂 基 議員

今回の予算案には、上月地域に整備が予定されている地域介護拠点施設に対する補助金や、全国的に急増している風しん

被害から地域の子もたちを守るための予防対策事業、あるいは有害鳥獣駆除活動をさらに強化する取り組みなど、きわめて緊急性の高いものが多く含まれている。

これらに対する住民要望も多くあり、速やかな執行が望まれているので本補正予算に賛成する。

■土づくりセンター条例の一部改正

乳用牛の家畜糞処理料金を、2t車1台当たりから1頭当たりの料金体系に改定するものです。

(委員会付託)



▲土づくりセンター

議員発議「議員定数」



▲佐用小学校

佐用小学校大規模改造工事

- 主な内容
- ・エレベーターの設置
 - ・屋上防水工事
 - ・和式トイレを洋式トイレに改修
 - ・火災、放送等電気設備
 - ・各教室の壁、床、天井の改修

社 契約先 阿山建設株式会社
 契約額 1億7955万円

■工事請負契約の締結
 (佐用小学校大規模改造工事)

■兵庫県市町交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減及び規約の変更
 構成市町の養父市が脱会したため、組合規約を

■国民健康保険税条例の一部改正
 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、関係条例の規定を整備するものです。

■職員の分限及び懲戒に関する手続及び効果に関する条例の一部改正
 地方公務員法に規定する職員の失職事由に該当する場合における、失職の特例を定めるものです。
 (委員会付託)

兵庫県西播磨県民局長 契約先
 契約額 9095万9000円

■工事委託契約の締結
 (町道小赤松線小赤松橋梁架設工事)

変更するものです。

■町有財産の無償貸付け(おねみ滝谷オートキャンプ村)
 貸付財産
 土地及び建物

貸付けの相手
 一般財団法人 大阪市青少年活動協会

貸付期間
 平成25年7月1日から平成28年3月31日

平成24年度専決補正予算額 (単位：千円)

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	357,598	14,283,703
国民健康保険	△61,635	2,188,626
後期高齢者医療	△11,876	276,223
介護保険事業勘定	△10,523	2,101,577
サービス事業勘定	△48	9,260
朝霧園	△1,562	126,102
簡易水道事業	△45,949	703,812
特定環境保全公共下水道事業	△18,779	881,577
生活排水処理事業	△11,801	496,191
西はりま天文台公園	△1,173	143,966
笹ヶ丘荘	△9,785	110,161
歯科保健	△1,996	23,922
宅地造成事業	△28,616	1,118
石井財産区	2	3,655



▲おねみ滝谷オートキャンプ村 (管理棟)

■佐用町税条例の一部改正
 ■佐用町過疎地域の指定に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
 ■平成24年度佐用町一般会計補正予算第6号
 ■平成24年度佐用町国民健康保険特別会計補正予算第4号
 ■平成24年度佐用町後期高齢者医療特別会計補正予算第2号

専決承認議案

■平成24年度佐用町介護保険特別会計補正予算第4号

反対討論

笹田鈴香 議員

平成24年度予算で、第4期財政安定化基金繰入金6000万円を、3年間で返済すべきと指摘したが、約7割を公債費としたため、第5期計画で42%もの保険料引上げで、月額基準5100円になった。

高齢者にとって年金の引下げと保険料の値上げは深刻な問題だ。本補正の積立金1067万2千円で基金積立金は2854万7千円となった。厳格な試算と反省を求めらる。

■平成24年度佐用町朝霧園特別会計補正予算第3号

■平成24年度佐用町簡易水道事業特別会計補正予算第4号

■平成24年度佐用町特定環境保全公共下水道事業



▲朝霧園

諮問

人権擁護委員の推薦

推薦のあった次の方々の議会の意見は適任と認めました。

岩本美保子氏（真宗）

押田美代子氏（西河内）

小紫光慈氏（船越）

小淵 操氏（久崎）

請願

■小人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

兵庫県教職員組合佐用支部から提出された「小人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に関する意見書提出を求める請願を採択しました。

発議

■議会議員の定数を定める条例の一部改正

提出者 議会改革調査特別委員長 石堂 基

議会議員の定数を、現在の18人から14人に改めるもので、次の一般選挙（平成26年4月）から適用するものです。

反対討論

綱島裕文 議員

議員定数を4削減し、14人にする議案に反対する。

第一点は、議会の重要な役割である広く町民の声を行政に反映する機能が低下することになる。第二点は、議会の重要な使命である行政のチェック機能が低下する恐れがある。町長以下多くの行政の専門家である職員が、毎日公務に従事している事務を議員が町民の立場からチェックするのは現状でも厳しく、削減ですます困難になる。

賛成討論

井上洋文 議員

先程、委員長から今後の議会改革により、議会報告等、情報公開と住民参加の熱い思いの報告があった。知恵と工夫を凝らせば14人でも十分役割を果たすことができる。

賛成討論

山本幹雄 議員

大多数であった。提案理由にもあったように、町民の声をより反映するように、一人ひとりの議員が少数精鋭の覚悟を町民に示すものである。次代の議会の機能強化のために、議会基本条例の制定を担保して賛成する。

賛成討論 岡本安夫 議員

この提案は4年前からの課題であった。議員は町民の期待に応え、支持をされて代表と認められている。14人にするのは、アンケートの結果が60%以上は削減するようにと

も問題があるが、段階的削減として4人の削減はいたし方ないのではないか。





「佐用町議会議員の定数を定める条例」 趣旨説明（要旨）

本町議会の定数は、二度の改正が行われ平成22年からは18人に改めて現在に至り、過去の定数改正においても議員の少数精鋭化や本町財政健全化への思いが強かったと感じています。

議会定数を検討するにあたっては、財政運営に対する一定の配慮が必要です。また、地域主権時代を担う議会運営を行なっていくために、「住民の声をより反映した行政運営」など、めざすべき議会のあり方に向けた役割を果たしていく責任がある。そこで、議会機能の維持・強化をセットに検討を行ってきましたが、定数削減が議会機能の低下につながっては、住民の負託に応える議会として本末転倒であり、地方分権が進むことに伴い増加する行政執行の適正さや有効性を評価し、監視・統制することができる議員定数であるべきです。

こうした観点から、特別委員会と全議員協議会で具体的な議論を重ねるなか、常任委員会の体制整備の検討と、議会の機能強化や、議員の資質向上に向けた取り組みも進めることを前提とし、14人の定数を提示いたしました。この議員定数については、これからの佐用町議会の基盤となり、次世代の議員がしっかりと議会運営できる環境整備を考えておく必要があります。

私たちには、次世代の議員に対して議員活動の条件を整える責任があります。議員定数を14人に改正することは、次代の議員が本町財政状況の中で、議会や議員の役割を十分に果たしていただけるよう責任を持って引き継いでいくこととあわせ、常任委員会体制を見直していくことを担保すること、そして議員一人ひとりが自己研鑽に励み、さらなる少数精鋭に挑む覚悟を示すものであり、議員自らが本町議会の定数はいかにあるべきかを慎重かつ十分に協議した結果です。

議会改革調査特別委員会
委員長 石 堂 基

町政を問う

一般質問とは、

一般質問とは、議員に認められた重要な権限です。議案に関係なく行財政全般にわたり、町長の考え方や行政を正す大切な場です。

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問者	頁	質問事項
高木 照雄	7	1. 佐用自動車学院の廃校について 2. 町内の国県道補修について
新田 俊一	7	1. 農林業の大改革を問う
笹田 鈴香	8	1. 町工事は厳格に実施せよ 2. 高齢者肺炎球菌予防ワクチン、風疹予防接種に助成制度を
井上 洋文	8	1. 命を守る施策について 2. 鳥取自動車道全線開通による誘客対策は
敏森 正勝	9	1. 次回町長選出馬意向は
金谷 英志	9	1. 支所機能の強化を求める 2. 産業振興をどう図るか
岡本 義次	10	1. 町職員の緊張感の欠如について 2. コンビニで住民票等の発行はできないのか 3. 学校・保育園規模適正化について
平岡 きぬゑ	10	1. 三土中学校の統廃合は住民合意をはかれ
鍋島 裕文	11	1. 水害裁判の判決をどう考える 2. 西はりま天文台公園の現状は 3. 教習所閉校による高齢者講習に便宜を
石堂 基	11	1. 子育て支援制度（任意予防接種）の充実を求めて 2. 森林活性化事業への取り組み状況について

※掲載の順番は、毎回くじ引きで決定しています。

Q 佐用自動車学院廃校にともなう高齢者の運転免許講習の対応は

A 近隣教習所でお願している



高木 照雄

問 佐用自動車学院廃校の対応は

町長 高齢者の運転免許更新にあたり、高齢者講習が義務づけられたため、70歳以上は講習を受けなくてはならない。高齢者にしてみれば大変なことで、佐用自動車学院が廃校になれば、他地区の自動車学校に行かなければならない。何とか佐用自動車学院の再利用ができないか。町として取り組む利用方法はないか。

町長 再開校は無理だが、日常生活をする上でバイクや自動車は不可欠なもの。町内の高齢者の講習については山崎、龍野、

町内の国道補修を早急に

問 災害復旧工事で大型ダンプの通行が増え、道路のわだちでハンドルを取られるなど危険である。

相生、赤穂の4校で実施しており、講習は自力で行くのが建前だが、3教習所の好意で無理な人はマイクロバスで送迎するよう取り組んでいただいている。今後、近隣での講習ができなかった場合は、町としてそれなりの対処をしたい。

町長 21年災害の緊急復旧工事、砂防工事等、千種川水系の工事は今が最中で、430万mの残土を搬出しているため国道が傷んでいることは県当局も分かっている。発注率は82%、残土の処分は3分の2ほどで、あと2年近くかかる予定。安全を確保しながら何とかしのぎ、全面補修は工事を完了後となる。

今回、国の補正予算がついたが、これは県道の志文地区、江川地区の工事と聞いている。工事は2年近くかかり危険なところを補修する。



Q 農林業の衰退に歯止めを

A 人・農地・農地プラン等に補助をする



新田 俊一

問 大きな補助金をつけ、町営的農林業を考えるとどうか。

町長 町が中心となることで農林業への就労率を高めたいことはできないか。

町長 農業に対する取り組みはTPPを含め、どう佐用町に取り入れるか研究していく必要がある。

町長 現在の佐用町では、規模拡大にも限界がある中で、収益性の高いものや都市近郊型農業に取り組み、価値の高い農作物を作ることが重要と考える。

農作物の開発には、町行政の支援が必要不可欠である。

町長 町振興作物を定め、地域の環境や特性に応じ

農業者の部会は

問 既にあると思うが、各部会で会議を開き、農林業の育成と基盤づくりを考えてはどうか。

町長 取り組み内容や活動状況により助成を行っている。本年度も29団体を対象に助成を行い、普及センターや農協と連携し、特色ある地域農業を図っていく。

農産物の特性を生かしては

問 安定した農業を営むためには、その地域の特性に応じた作物が重要であり、佐用町内に作物推奨エリアを決め、地域ぐるみで取り組んではどうか。そのために必要な補助金制度の整備拡大を図ってはどうか。

町長 町振興作物を定め、地域の環境や特性に応じ

て取り組みをしている。国が定めている戦略作物の他に、町独自の奨励作物を加え、作付けの取り組みに応じて産地資金とし助成している。

問 少子高齢化からの脱却、就労の場所づくりをめざし、壮大な改革と将来のまちづくりのため、佐用町に今こそ頑張りが必要だと思いませんか。

町長 若者の就労の場を確保することは人・農地プランに関係する。農業は経営が安定するまで、年間150万円、5年間支給していく。



▲耕作放棄が目立つ田畑

Q 公共工事は厳格にせよ！

A 専門家も入れて検討する



笹田 鈴香

問 甲大木谷の農地災害復旧工事で同箇所が3回も崩壊した件で、業者の施工不良が判明し、工事のやり直しと1ヶ月の指名停止、職員は懲戒処分となった。

県の基準は、ブロック積みは3mの高さだと4分勾配または5分だ。設計ミスではないか。また、職員が現場に行けなかったのは工事箇所が多すぎたというが、合併後職員の削減が一因ではないか。

町長 設計は査定時、そのとおりしないと補助の対象にならない。また、職員の削減とは関係ない。

問 災害復旧工事は原形復旧ということで認められなかった。改良復旧を強く求める。

町長 それはできない。

問 町道停車場福原線大坪集落で工事後舗装がめくれ、部分的に修復しているが、それも傷み大変危険だ。原因を確かめ、早急に対処すべき。

町長 水害の時、道路も浸水し舗装の下に水を含みその上を大型工事車両



▲修復が待たれる町道（大坪）

の通行が多かったため、補修をしたが傷んだ。まだ工事が終わっていないので工事が終わりたいので対処する。

問 本位田甲集落の戸谷池の堤防が台風9号災害で決壊し、復旧工事をしたが漏水しており近くの人が心配している。専門家の知見も取り入れて修復をすべき。

町長 復旧工事後漏水が分かり修復工事を実施、水量は減ったがまだ漏水があるので専門家も入れて検討している。

高年齢者肺炎球菌予防ワクチンに助成を

問 肺炎は日本人の死因の第4位を占め、65歳以上では年間10万人が肺炎で亡くなっている。佐用町では第3位平成22年。助成に取り組んでいる自治体（例えば福崎町）が増えている。佐用町でも実施せよ。

町長 近隣市町の動向をみて検討する。

Q 「救急医療情報キット」配布事業の取り組みを求める

A 実施に向け検討する



井上 洋文

命を守る施策の取り組みは

問 救急医療情報キット配布事業の実施を。

高齢者や障害者、健康に不安のある人の安全、安心を確保するために、救急医療情報を詰めたカプセルを各家庭の冷蔵庫に保管しておき、救急時に救急隊員を介しその情



▲たつの市、宍粟市の救急医療情報キット

報を医療機関等に伝える仕組みで、迅速かつ的確な救命措置ができるが、その取り組みは。

町長 実施に向け検討する。

問 子ども救命士プロジェクト事業の実施を。

これは、早いうちから子どもたちに命の大切さを理解させ、救急救命の知識を子どもの時から身につけ、将来大人になった時に役立て、町民の救命率向上につなげたいという事業だが取り組みは。

町長 命の大切さを学ぶため、プロジェクト事業ではないが小・中学校、佐用高校、西はりま消防本部佐用消防署、地域づくり協議会と連携を深め取り組みを考えていく。

問 防災マップづくりの現況、災害時要援護者の

避難支援は。

台風9号災害を教訓に住民による集落単位の「防災マップ」づくりを進め、要援護者の所在をマップに盛り込む作業を行い、全町的に意識の向上と対応の周知を行ってきたが、その後の取り組みは。

町長 防災マップづくりは7割近くが作成されている。進んでいない自治会については、自主防災組織を再編する中で支援していく。要援護者については、自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会等連携し、災害支援の整備を図っていく。

鳥取自動車道全線開通による誘客対策は

問 誘客対策、観光、特産品のPRの取り組みは。

町長 従来のPRは京阪神方面を意識した取り組み。今後は、鳥取、島根方面も意識し力を入れていく。

Q 次期町長選挙への出馬は

A 元氣な地域にするために
逃げるわけにはいかない



敏森 正勝

て災害を意識した現れであり、住民を守り地域を守る事が第一であり、二度とこのような災害がないよう祈るもの。

問 旧四町が合併して約八年。広範囲の地域で考え方や地理的条件も違い、同じ事であっても必要ないところもあればそうでない地域もあり、大変である事は言うまでもない。

しかし、合併後少しずつ取り戻し、安定した町行政になりつつあると思う。特に、台風9号被害による防災対策に力を入れ、河川監視カメラを始め無線による住民対応ができるよう町内全域に防災策網を巡らし、河川復旧も川の形状を変え、54kmにおよぶ復旧工事も着々と進み、完成間近かになった。これらすべ

めさせていただいている。一期目の最大の課題は、町行政安定の基礎をつくる

ことが責務であったと考えており、また経験したことのない多くの人命まで失う大水害に見舞われ大きな試練にたたされた。災害によって国県の支援をいただき災害の復旧はほぼ完了し、今後安定した行財政を維持していくことが大事であり、町長の責任は非常に重いと考えている。町民のみなさんが将来の安定した町づくりを求められている以上、今その責任から逃げるわけにはいかない。次回立候補して将来の発展のため、礎となる覚悟を持つていることを申し上げる。

町長 新佐用町が発足してもうすぐ8年を迎える。合併特例法による優遇措置も、後2年で以後段階的に削減される。新町の安定した行財政運営を確立し、行政サービスの向上を図るその責任を果たすため立候補し、町民の負託を受けて二期目を務



Q 支所機能の強化を図れ

A 人員に余裕はない



金谷 英志

問 新町合併協定書では、組織体制の整備方針として「①住民サービスが低下しない。②住民にわかりやすく、利用しやすい。③住民の声が適切に反映できる。④行政課題に迅速かつ的確に対応できる。」

組織・機構とするとし、合併協議会で「周辺部分を取り残されることのないよう充分配慮します。」とあります。この方針に沿った職員の事務や配置の見直しなど、支所機能の強化を図るべきではないか。

問 地域のことがよく分かった職員を支所に配置し、農林や建設の業務を持たせることがその地域の振興につながるのではないか。

町長 専門性を持った職員を、地域ごとに配置するのは難しい。

問 今の支所の業務量からして、新たに職員を増やさなくてもできるのではないか。

町長 行政は複雑になっている。一人の職員が対応することは難しい。

問 本庁にいる職員と同等の専門性を持った職員を配置せよと言っているのではない。地域で対応できるほうが効率的ではないか。

町長 そのほうが現場は混乱する。人員的に余裕はない。

産業振興に組織・体制づくりが必要

問 京都府与謝野町では産業振興会議を設立し、農林業を含む事業者、経済団体、行政で中小企業の重要性の共通認識をもって産業振興に取り組んでいる。このような組織・体制づくりが必要ではないか。

町長 与謝野町のことは不勉強で分からないが、示唆をいただいたので研究する。



▲三日月支所 地域振興課

Q 町職員の緊張感の欠如を問う

A 嚴重に対処する



岡本 義次

問 役場職員が次々と交通事故を起こしている。テクノでの人身事故、平福での車両衝突物損事故、役場前でのバイクとの衝突人身事故。上月では交通標識破損による損害賠償額13万円の支払い。その時、複数の議員からどうなっているのかと質問があった。

また、ある職員は免許の更新を忘れ、1年間にもおよび無免許で通勤、私用、役場の公用車にも乗っていたとのこと。次々と事故を起こし、大事故につながると思うが、どうなっているのか問う。町長 本人が住所の書き

どうなっているのか。町長 本人にもよく注意する。

問 他町で人の足、腰、肩を嘔んだのを見た。転んで首でもかまれたら、死に至る、十分注意を。また、保育料を3年間16人227万円の請求漏れがあった。どうなっているのか。

町長 口座振替依頼書を別冊に綴じ込み、請求入力ができていなかった。窓口でガムをかみながら町民対応したり、職員を監督不行き届きで懲戒処分したりと、次々不祥事が起きているが町民からどうなっているのかとの声が出ているが。

町長 事実があれば嚴重に対処する。

町長 本人は深く反省し10分の1、3ヶ月の減給処分。その後、警察交通課による全責勉強会も行った。

町長 重大事故が起きてからでは遅い、十分注意を。また、役場が町民に犬の正しい飼い方をしましょうと呼びかけているにもかかわらず、複数職員が大型犬を放し飼いにし、郵便局員や運送屋、近所の方から、子供も怖がって外へも出れない、困っていると苦情がある。



Q 三土中学校の統廃合は住民合意をはかれ

A 協議中だ



平岡 きぬ

問 4月5日の全員協議会で宍粟市教育長から「今年、土万小学校の卒業生が三土中学校に入学しなかった」と経過報告を受けたが、唐突に感じた。

教育長 今年から宍粟市教育委員会が区域外就学を認めたからだ。

問 今回の区域外就学は閉校を前提にしたものであり、町からの説明がないのは問題ではないか。町長 三土中学校の管理者は宍粟市長だ。細かい説明はなかった。

問 三土中学校閉校後、三河に中学校存続の声もある。検討を求める。

分地域住民の理解協力を得て行う事としている。説明はできているのか。

教育課長 住民への説明をどうするのか協議中だ。

問 佐用町の教職員の雇用実態はどうなっているのか。

教育長 正規職員は191人。(資料)

問 佐用町で子育てしたいと思える施策は。

町長 少子化は、社会全体の問題だ。今の子どもたちへの対処をする。

	特支学級		頭計	校長・主幹	教諭	新学習	生徒指導	支援	栄養	養護	事務	計
	学級	数										
佐用小	8	2	10	3	10(1)	1	2		1	1	1	19(1)
江川小	4	4	8	3	4(1)				1	1		9(1)
利神小	6	2	8	3	8(1)				1	1		13(1)
暮山小	4	4	8	3	4(1)				(1)	1(1)		9(3)
上月小	6	1	7	3	7(2)			1(1)	1	1	1	14(3)
久崎小	6	2	8	3	8				1	1(1)		13(1)
中安小	5	2	7	3	7(1)		1		1	1(1)		13(2)
徳久小	5	2	7	3	7(1)				(1)	(1)	1	13(3)
三河小	5	2	7	3	7(1)				1	1(1)		12(2)
三日月小	6	2	8	3	8(1)	1			1	1(1)		14(2)
小学校計	55	15	70	30	70(10)	2	3	2(2)	10(2)	10(5)	2	129(19)
佐用中	6	2	8	3	12(5)	2	1		1	1		20(5)
上月中	4	4	8	3	7(1)	1	1	2	1	1	1	15(1)
上津中	3	1	4	3	7(2)	1	1		1	1		14(2)
三日月中	3	2	5	2	8(1)	1			1	1		13(1)
中学校計	16	5	21	11	34(9)	5	1	3	4	4		62(9)

※小・中の正規採用は191人、臨時職員は28人。町教委資料で作成。

Q 天文台が研究のみの施設ではまちづくりに影響する

A 大学に地元の意向をよく伝えたい



鍋島 裕文

問 昨年より、西はりま天文台は今までのCSR施設から県立大学の施設となり、町民から「敷居が高くなった」との声が寄せられている。天文台は公開部門と研究部門の二つの重要な役割がある。大学の施設となったことで、機能が研究に偏重すれば、「星空のまち・佐用」としてのまちづくりにも大きな支障が出る。

町長 これまでと大きく変われば、県に申し入れをする。ただ、現状はそうはなっていない。

問 大学移管後、アスレチック施設が撤去された。多くの子ども達に喜ばれ

ていたものであり、町のアンケートには再開を望む声が多数あると聞く。

公園長 子ども連れの来園者で残念がっていた人もあった。

町長 アスレチック施設撤去は子どもたちに大きな影響が出た。天文台が大学に移管された影響だと思う。再度整備するには多額の費用がかかる。アスレチック遊具に代わるものが必要だ。

問 これまで佐用チャンネルで放映されていた「キラキラチャンネル」は町民と天文台を結ぶ上で、いい役割を果たすだけでなく、全国的にも高い評価を受けていたと聞く。再開すべきでは。

町長 キラキラチャンネルの制作は黒田元天文台公園長の力が大きかった。

伊藤センター長と協議する機会をつくりたい。

Q 水害判決を真摯に受け止め悲劇を繰り返さない

A 真摯に受け止める

問 水害裁判の判決は、町には損害賠償の法的な過失責任は認められないというもので、災害に対する「町長の警戒心の欠如」を指摘するなど町長の道義的責任をきびしく指摘している。今後、二度とこのような悲劇を繰り返さないためにこの判決に真摯に向き合うべきではないか。

町長 判決を真摯に受け止め、今後の復興と防災強化に全力をつくす。



▲西はりま天文台公園 (7月3日)

Q みずぼうそう・おたふくかぜに対するワクチン接種を助成対象にする

A 関係機関と協議して検討したい



石堂 基

問 昨年3月・厚労省が定期接種化すると発表した6種類の任意接種ワクチンの内、みずぼうそうとおたふくかぜだけが現在も定期接種化されていない。本町では、ヒブや子宮頸がんなど他の4種について定期接種化以前から任意接種事業として取り組むなど積極的に取り組んできた。子どもたちの健全育成を進める観点から、水ぼうそう・おたふくかぜのワクチン接種助成を考えるべきではないか。

町長 厚労省予防接種部会が発表した中で、なぜ2種類だけが現在も定期化されていないのかわからない。

であるが、子どもたちの健やかな育成を思うと対象として考えるべき内容である。今後は、関係機関とも協議を行い問題がなければ検討を進めたい。

問 赤穂で建設が進められている木質バイオ発電事業のほか、県下でも一基の計画があり、さらには鳥取や岡山でも木質バイオ発電事業が広がっている。こうした状況から、町内の森林資源が活用できる機会が大きく広がってくるが、これを進めるためには行政の取り組みが不可欠と考える。

町長 県森林組合連合会が燃料資源の供給を一部行う予定で現在も調整が行われている。この結果により各森林組合に要請

問 赤穂で建設が進められている木質バイオ発電事業のほか、県下でも一基の計画があり、さらには鳥取や岡山でも木質バイオ発電事業が広がっている。こうした状況から、町内の森林資源が活用できる機会が大きく広がってくるが、これを進めるためには行政の取り組みが不可欠と考える。

問 赤穂で建設が進められている木質バイオ発電事業のほか、県下でも一基の計画があり、さらには鳥取や岡山でも木質バイオ発電事業が広がっている。こうした状況から、町内の森林資源が活用できる機会が大きく広がってくるが、これを進めるためには行政の取り組みが不可欠と考える。

があるので、それに応えるために行政も共同して森林経営計画の推進を行う体制整備に努めている。

問 木質バイオ発電事業により森林資源の価値は一変すると言われている。人工林、自然林が豊かで加工施設もある佐用町は非常に優れた産地である。この恵まれた条件を活かして林業振興を図り、若者の就労の機会づくりも期待できる事業の取り組みを考えるべき。



▶町内にある木材チップ加工工場

常任委員会・特別委員会報告

6月定例議会付託案件審査、調査報告

総務常任委員会

委員長 石黒永剛

職員の分限及び懲戒に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正

この条例は、地方公務員法による欠格事項の一つに該当した場合、職員は特別の定めがある場合を除き失職するという規定に対応したもので、特に交通事故を起こし有罪となつたときを想定し、その運転目的が私用、公用を問わず過失を伴いかつ執行猶予とされたとき、熟慮判断し失職が免れるとする内容です。

結果：全員賛成原案可決

職員の給与の臨時特例に関する条例の制定
この条例は、既に国家公務員が平成24年4月から平成26年3月までの2年間、平均7・8%の給料を減額していることにならい、地方公務員にも

同様の措置を求めた閣議決定の要請をうけたことによるもので、政府は、削減した地方交付税相当額を東日本災害支援地域活性化事業費等に充てるとしています。

これにより佐用町も職員組合の合意を得て、給料表の号級に応じて給料月額を3または6%減額、期末手当を一律7・8%減額、管理職手当を10%減額、町長、副町長、教育長は定めがないものの給料月額および期末手当を7・8%減額しようとするものです。実施期間は7月より26年3月までの9ヶ月間です。

産業建設常任委員会

委員長 高木照雄

土づくりセンター条例の一部改正

この条例は、乳用牛の家畜糞処理料を、2t車

1台当たりから1頭当たりで改正するも、現在の乳用牛2t車1台当たり1500円を、平成25年7月1日より、乳用牛1頭当たり2歳未満・年額4000円、2歳以上年額1万2000円に改定するものです。

結果：全員賛成原案可決

厚生常任委員会

委員長 山田弘治

平成25年5月16日に実施した所管事務調査並びに現地調査の結果について報告します。各課長から報告を受けた新年度の主な事業計画は次のとおりです。

平成25年度主要事業

住民課

- ゴミ減量化対策事業
- (1) 生ゴミ堆肥化容器購入手補助 20基分6万円
- (2) 資源ゴミ集団回収運動奨励金事業 24団体分236万円
- (3) 住宅用太陽光発電シ

STEM設置補金事業 50件分560万円など9事業を計画。

また、久崎衛生公苑（し尿処理場）の修繕、設備の更新を計画。

健康福祉課

敬老会事業

今年度は各地域で開催予定、対象人数4186人（75才以上）。

地域介護拠点整備事業

小規模多機能型居宅介護事業整備への助成。上月地域で予定。

佐用郡病院群輪番運営事業など27事業を計画。

上下水道課

早瀬地区水道管移設工事を含め13事業を県河川復興室と調整しながら実施していく。

南光地区宍粟下徳久線漆野水道管移設工事を含む4事業は県土木と調整しながら進めていく。

現地調査

4月1日から操業して

いる、にしはりまクリーンセンターの現地調査を行いました。

担当者の説明では、各市町から持ち込まれる可燃ゴミは問題ないが、粗大ゴミ、不燃ゴミは市町にばらつきがある。

また、25年度は可燃ゴミ2万9000トン予想、4月分は可燃ゴミ1685トンと、粗大ゴミの内可燃物25トンで合計1710トンとなり、計画どおりの搬入量になると説明を受けました。



▲にしはりまクリーンセンター

千種川水系河川改良復旧事業 約80%完了

7月2日、千種川水系の河川改良復旧事業進捗状況の現場調査を行いました。工事は平成26年度完了を目指し着々と進められ、着手済みを含め約80%が完了しています。

台風9号災害復旧・復興対策特別委員会 委員長 井上洋文



▲京橋付近（平福）で説明を受ける



▲佐用橋下流付近（佐用）



▲新笹ヶ丘橋下流付近（久崎）



▲平谷橋付近（櫛田）

研修報告 バイオマスの有用性を調査

5月14日 産業建設常任委員会

副委員長 井上洋文

森林資源を活用した地域振興をめざす岡山県真庭市のバイオマスタウン構想の取り組みを視察しました。

真庭市は、岡山県北部に位置し、総面積828km²、森林面積79%と、佐用町と同じ自然豊かなまちです。

バイオマスをまちの振興策の柱とする真庭市は、その取り組み自体をツアー化し、2006年から「顔の見える産業観光」をコンセプトにスタートしています。

真庭市のバイオマスタウン構想について、詳細な情報提供（バイオマス利活用計画の内容・真庭市内のバイオマス製品などの紹介・バイオマスタウンの歴史）を受けた後、銘建工業㈱を訪問。製材

過程で出る廃材を利用した新しいエネルギー・木質ペレットの製造、端材や樹皮による木質バイオマス発電設備等を視察しました。

その後、バイオマス資源を安定供給するためにつくられた真庭バイオマス集積基地へ移動、素材生産者や山主などの市民によって持ち込まれた未利用材を、原料や燃料として加工している現場を視察しました。

最後に訪れた真庭市役所は、平成23年に建設。真庭産の木材を家具、内外装材などふんだんに活用。また、周辺の歩道などは木片コンクリートで舗装。さらに、電気自動車の急速充

電器も設置しています。また、庁舎内空調はチップボイラーとペレットボイラーにより冷暖房を行っており、二酸化炭素の排出削減にも貢献しています。

真庭市は、賑わいと安らぎのある都市づくりを目標に、数々の振興策を行っています。



▲バイオマス発電施設の視察（真庭市）

組合議会報告

(三土中学校・西はりま消防)



▶トライやるウィークで西はりま消防組合佐用消防署員から、災害に備え土のうづくりを学ぶ生徒たち

三土中学校事務 組合議会

組合議員 敏森正勝

宍粟市の市長・議会議員選挙により、組合管理者および組合議員の構成が変わりました。

6月3日、三土中学校で開かれた組合議会において、新しく管理者となった福元晶三宍粟市長の開会あいさつに続き、このたび岸本義明議員（宍粟市議会議長）を副議長に、大畑利明議員（宍粟市議会議員）を組合議員とし、次のとおり議席が指定され可決しました。また、教育委員には元三土中学校長の西岡章寿氏が任命されました。

- 議席番号
- 1 岸本義明
 - 2 東 豊俊
 - 3 大畑利明
 - 4 敏森正勝
 - 5 井上洋文
 - 6 西岡 正
- 閉会后、三土中学校閉

校に係る状況について、4月15日の三土中学校保護者全体会、三河地区自治会会長会、宍粟市佐用町教委の事務協議、三河地区新1年生保護者会、小中学校PTA正副会長会、土万地区自治会会長会等会議の経過が報告されました。



▲三土中学校

西はりま 消防組合議会

組合議員 山田弘治

第1回にしはりま消防組合議会開催

第1回臨時会を4月22日午後2時から開催、正副議長選挙を実施し、議

長に柳生陽一議員（たつの市議会議長）、副議長に角石茂美議員（相生市議会議長）が選任されました。

議員提案

・西はりま消防組合議会 議規則の制定 可決

専決

・西はりま消防組合の休日を守る条例外32件の条制定 承認
外2件 承認
・平成25年度西はりま消防組合一般会計暫定予算 総額10億5641万8千円 承認

同意

・西はりま消防組合監査委員の選任
竹代修一氏（相生市）
清原良典議員
（太子町議会議員）

同意
・西はりま消防組合公平委員会委員の選任
清水康廣氏（宍粟市）

松本文隆氏（太子町）
内山宗一氏（佐用町）
同意

・平成25年度西はりま消防組合一般会計予算 総額29億9357万5千円 可決

第2回西はりま消防組合議会開催
7月3日午後4時から行われた第2回臨時会では、議長、副議長の辞職願を認めた後、指名推薦により、議長に松本義彦議員（たつの市議会議長）、副議長に柴田和夫議員（相生市議会議長）を選任しました。

専決

・西はりま消防組合職員給与に関する条例の一部改正 承認

議員提案

・西はりま消防組合議会議規則の一部改正 可決
・西はりま消防組合証人等実費弁償支給条例の一部改正 可決

議会改革調査特別委員会報告

佐用町議会では、「議会改革調査特別委員会」を設置して議論を進めていますが、この調査の一環として町民意識アンケートを行っています。調査項目は、「議会、議員に対する評価」や「議員定数、報酬への考え方」、「今後の議会活動」など15項目で、主な調査結果についてはこれまでの議会広報でお知らせしています。今回はアンケートに記述のあった主な意見内容を掲載します。

議会改革調査特別委員会 委員長 石 堂 基

1. 議会に関心が持てない理由についての意見 (総数60件)

- 議会の活動が目に見えない (20)
- 多忙のため議会に関心がもてない (11)
- だれが議員になっても変わらないから期待していない (9)
- 議会を身近に感じない (7)
- 町民の意見や考え方が反映されていない (7)
- 町長と対等の立場で厳しく行政に対峙してほしい (4) ほか

2. 議員定数についての意見 (総数240件)

- 現在の定数は多い (96) 議員定数は16名でよい (41)
- 現在の議員定数でよい (25) 議員定数は12名でよい (24)
- 議員定数は14名でよい (17)
- 報酬だけをもらうような議員は必要ない (8) ほか

3. 議員報酬についての意見 (総数250件)

- 十分な報酬を受け取り、それ以上の活動を期待する (51)
- 現在の報酬は多すぎる (44)
- 議員定数と報酬全体額で考えるべき (28)
- 若い世代が専任で議員活動ができるように月額報酬を引き上げる (23)
- 報酬支給を日当制にする (23) ほか

4. 議会に対する意見や要望について (総数250件)

- 農業や商業・若者定住施策などに積極的な政策提言を求める (30)
- 各地域行事などに参加するなど、住民との積極的な意見交換を望む (20)
- 議会活動が広く知られるような広報活動に取り組むべき (19)
- 地域集会などで定期的な議会報告会を実施してほしい (19)
- 町が活性化するようにこれからも活動してほしい (19)
- 議員の質的向上(レベルアップ)が必要である (10)
- 町の将来を真剣に考えているのか疑問である (6) ほか

今後の 議会の予定

9月

- 2日 議会運営委員会
- 10日 9月定例議会開会
- 11日 決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
- 17日 総務常任委員会

10月

7日 9月定例議会閉会

- 18日 厚生常任委員会
- 19日 産業建設常任委員会
- 24日 本会議2日
- 25日 一般質問
(テレビ放映)
- 26日 一般質問
(テレビ放映)
- 27日 一般質問
(テレビ放映)

暑中お見舞い申し上げます

町民の皆さんの要望を反映した一般質問、町の事業などについての意見のやり取りをじかに聞いて町政に関心を持ってください。

佐用町議会では、本会議だけでなく、委員会も公開しています。傍聴の申し込みは議会事務局まで。

電話 82・0668(直通)



兵庫県自治功労賞受賞
山田 弘治 議員



兵庫県町議会議長会 自治功労賞受賞
大下吉三郎 議員(左)
山本 幹雄 議員(右)

今回は、徳久地域づくりセンター長の川崎さんを訪ねました。徳久地域づくり協議会は6月末現在、6自治会、536世帯、1502人で構成されています。就任2年目の川崎さん、突然、区長さんからセンター長のお話があり引き受けられたとのこと、今、1年の活動を振り返り、その役割の重要性和責任を感じるとのこと。徳久地域は、まちづくり部会とふれあい部会を2本柱にすえ、環境美化活動や避難訓練、ふれあい運動会、夏休みのラジオ体操やゴルフ大会、ふれあい喫茶など、地域のふれあいによるまちづくりを進められています。2年目の今年、鮎のつかみ取り大会など次の行事に目の輝く川崎さんでした。

地域づくり センター長 登場



徳久地域づくりセンター長
かわさき とし ろう
川崎 俊郎 さん (63歳)

編集後記

第116代兵庫県議会議長に石堂則本議員が就任されました。佐用郡からは小笹耕作さん(旧三日月町)に続き71年ぶりの議長です。心からお祝い申し上げます。

さて、本年は梅雨入り宣言が早く出されましたが、梅雨どころか猛暑が続き熱中症予防のために注意されたことと思います。その梅雨も明け、夏本番ですが、身体には十分気をつけるとともに、ゲリラ豪雨等多発時期ですのでご注意ください。

今回のセンター長さんは、南光地域づくりセンター長の川崎俊郎さんです。ご協力ありがとうございました。

(広報委員) 大下吉三郎

議会広報特別委員会

- 委員長 山本 幹雄
- 副委員長 井上 洋文
- 委員 金谷 英志
- 大下吉三郎
- 石堂 基
- 笹田 鈴香